

4月8日(金)、晴れ渡る好天のもと、2022年度入学式が挙行されました。中学生が60名、高校生が301名で、合計361名の新入生を迎えました。式は体育館で行われましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者のみなさまには教室にてzoomで式の様子をご覧いただくことにご案内いただきました。

約30分の時間でしたが、新入生の聴く姿勢は実に立派でした。学園理事長の林正夫先生からは「校歌に込められた想いの通りに歩いて欲しい」というお言葉をいただきました。また、広島修道大学の新学長、矢野泉先生は広島修道大学との連携について述べられ、「みなさんは無限の可能性を持っています。6年間及び3年間で可能性を育ててください」と激励いただきました。(以下は校長式辞)



「学校は学びの場、経験の場、成長の場」

二十四節気、清明の初候「玄鳥至る」、海を渡ってつばめが南からやってくる頃となりました。ただいま中学校60名、高等学校301名の入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

教室におられます保護者のみなさま、ご子女のご入学、おめでとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて式の様子をご覧いただきますことをご許し願いたいと存じます。ご来賓のみなさま、本日はご多用の中をご臨席いただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、新入生のみなさんは小学校から中学校へ、中学校から高等学校へとそれぞれ新たなステージへと進みました。今日から、本校での学校生活をどのように送りましょうか。

私たちは夢や希望を持ち、それぞれに役割を担ってこの社会で生きています。その中でさまざまな場面において、すぐに答えが見つからなかったり、複数の答えに出合ったりする場合があります。また、他者と意見が対立し、見通しが利かなくなることもあります。それでも答えを選んで歩まなくてはならないのが社会の中で生きるという現実です。迷ったまま、見通しが利かないままではなく、知恵を絞り、工夫を凝らして相応しい方向を定めなくてはなりません。

そうです、悔いのない生き方をするためには答えの選択が要ります。その選択する力を備えるために「学校」があります。

学校は、「学びの場、経験の場、そして、成長の場」です。悔いのない生き方をするためには多様な知恵が必要です。自分に足りないもの、納得しがたいものがあるから学びを深めていなくて

はなりません。学校は学びの場です。学んだことを確かめるには経験することが欠かせません。トライ&エラー、失敗を恐れずに取り組みましょう。実は、うまくいかなかったときの方が得るものが多いように感じます。そして、こうしたことの積み重ねによって、自立していく自分の姿に気づき、自分を律する心が育まれ、やがて自分の目指す方向に向けて動き出す、走り出す、「自走する」まで成長を遂げていくはずで

本校、修大ひろしま協創には、このことを可能にする環境が整っています。しかし、自らの学びを深め、自らが動き出して経験を積み重ねるという習慣を会得し、成長へのシナリオを描くのは自分自身の強い想いでしかありません。「探究型学力、協創する力、社会参画する力、自己実現する力」の4つの力を身につけ、「グローバル・イノベーション・リーダー」、地球的な視野で考えて地域社会と協創する人を目指していきましょう。

みなさんの中には、本校の選択が不本意だったという人がいるかもしれません。しかし、こうして一期一会のご縁をいただいたことは偶然ではありません。この出会いを大切にしてください、あなたは協創で学んだよという必然のご縁なのです。人は人です。こうして導かれた自分の道を歩むことで必ず希望の灯が見えます。この修大ひろしま協創で輝きを放ちましょう。

終わりにあたり、保護者のみなさま、ご子女の成長は家庭教育と学校教育の両輪があってなしえます。ご子女の成長を支えるため、ともに手を携えることができれば幸いです。

我々教職員は、「凡事徹底、進取果敢。」を肝に銘じ、ご子女の成長のために万全を尽くし、支援してまいります。以上を誓い、式辞といたします。